

研修旅行 国会議事堂見学と皇居・東御苑の参観添乗記

春の研修日、3月28日は、例年だと桜が満開で、皇居東御苑は入場制限の可能性ありと、対策も考えたが、今年は気温が上がらず、開花が一週間遅れて無用の心配をしました。

当日は天候も良く、集合時間の朝8時20分には、ほとんどの会員さんが集まっていました。定刻に出発し、見学地の国会議事堂へと向かい、秋元部長の司会で、自己紹介はそれぞれの方の思いで行い、車内は盛り上がりました。

国会議事堂は、昭和11年に帝国議会議事堂として建設され、当時は日本一の高さを誇り美しい御影石で装われた議事堂は「白亜の殿堂」と称賛されたそうです。



議事堂内は衛視の案内と説明で、普段テレビでは、殺伐とした画面を見せられていますが、会議のない議事堂は見学者の他、あまり人はいなく、それでも何か威厳を感じた。

食事は、毎回参加している人が言うには、今年の弁当は、美味しいとお褒めの言葉を頂いた。

また秘書の説明で、国会議事堂内の道路は、議員さんが分刻みで動いているのと、イライラがあるらしく、道路交通法に関係なく？猛スピードで運転しているため注

意して、との説明がありました。

予定どおり国会議事堂を後に皇居に移動し、衛視の案内で、始めに講堂内で400名位の参観者が一同に、大画面のビデオによる皇居内の説明を受けた。その後衛視の後に続いて各所に400名位が説明を受けながら移動した。



私は初めての参観なので、ここに天皇皇后両陛下が、お住まいしていると聞き、心が引き締まる思いでした。皇居東御苑は、皇居造営の一環として皇居東地区の、旧江戸城の本丸・二の丸・三の丸の一部を、宮殿の造営に合わせて皇居のお庭として整備された。天守閣は当初、石垣の高さは14メートルあり、その上に我が国最大の天守閣がそびえていた、明暦3年(1657年)の大火で焼失した後は、再建されずに、石垣が堂々と天守台(石垣の